2016

水辺の生き物調査 調査結果報告

平成 28 年 8 月 3 日（水）朝 9 時から、小山町立足柄小学校近くの地蔵堂川で、4 年生～6 年生の小学生 12 人が参加し、水辺の生き物調査を実施しました。なお、調査はコンサルタント会社調査員の指導の下に行いました。

当日の調査のようす

■ライフジャケットをつけ、調査リーダーから注意事項を聞きました。

■1～3 班に分かれ、タモ網、水槽を受け取って色々な場所で生き物を探しました。

■川の生き物は草の根元や石の下などに隠れています。何がとれたかな。

■陸に上がり、リーダーの説明を聞きながら、捕まえた生き物の名前を調べます。

■ルーペやピンセットを使って生き物を観察。写真もとりました。

■最後に、捕まえた生き物の名前を班毎に発表しました。

調査の結果

■サワガニやカワニナ、トンボの幼虫、トビケラ、カワゲラ、カゲロウの幼虫など、全部で **46 種類（4 門 7 綱 15 目 37 科）**の川の生き物が確認できました。

■貴重な生物は、静岡県のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種）に指定されている魚の**カジカ、**準絶滅危惧（生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種）に指定されている**カジカガエル**（オタマジャクシ）が確認できました。

No.	門	綱	目	科	学名	和名
1	扁形動物門	渦虫綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	*Dugesia japonica*	ナミウズムシ
2	軟体動物門	腹足綱	盤足目	カワニナ科	*Semisulcospira libertina*	カワニナ
3	節足動物門	クモ綱	ダニ目	ヒョウタンダニ科	*Protzia* sp.	ヒョウタンダニ属
4		軟甲綱	エビ目	サワガニ科	*Geothelphusa dehaani*	サワガニ
5		昆虫綱	カゲロウ目	コカゲロウ科	*Baetis taiwanensis*	フタモンコカゲロウ
6					*Labiobaetis atrebatinus orientalis*	ウスイロフトヒゲコカゲロウ
7				ヒラタカゲロウ科	*Ecdyonurus yoshidae*	シロタニガワカゲロウ
8					*Epeorus curvatulus*	ウエノヒラタカゲロウ
9					*Epeorus* sp.	ヒラタカゲロウ属
10				チラカゲロウ科	*Isonychia japonica*	チラカゲロウ
11				モンカゲロウ科	*Ephemera japonica*	フタスジモンカゲロウ
12				マダラカゲロウ科	*Ephemerella* sp.	マダラカゲロウ属
13			トンボ目	カワトンボ科	*Calopteryx cornelia*	ミヤマカワトンボ
14					*Mnais* sp.	カワトンボ属※
15				ムカシトンボ科	*Epiophlebia superstes*	ムカシトンボ
16				ヤンマ科	*Boyeria maclachlani*	コシボソヤンマ
17					*Planaeschna milnei*	ミルンヤンマ
18				サナエトンボ科	*Davidius nanus*	ダビドサナエ
19				オニヤンマ科	*Anotogaster sieboldii*	オニヤンマ
20			カワゲラ目	オナシカワゲラ科	*Amphinemura* sp.	フサオナシカワゲラ属
21					*Nemoura* sp.	オナシカワゲラ属
22				ヒロムネカワゲラ科	*Cryptoperla japonica*	ノギカワゲラ
23				カワゲラ科	*Kamimuria quadrata*	クロヒゲカワゲラ
24					*Neoperla* sp.	フタツメカワゲラ属
25			カメムシ目	アメンボ科	*Aquarius paludum paludum*	アメンボ
26					*Metrocoris histrio*	シマアメンボ
27			ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	*Parachauliodes continentalis*	タイリククロスジヘビトンボ
28					*Protohermes grandis*	ヘビトンボ
29			トビケラ目	シマトビケラ科	*Hydropsyche orientalis*	ウルマーシマトビケラ
30				ヒゲナガカワトビケラ科	*Stenopsyche marmorata*	ヒゲナガカワトビケラ
31				ヒメトビケラ科	*Hydroptila* sp.	ヒメトビケラ属
32				ナガレトビケラ科	*Rhyacophila nipponica*	ニッポンナガレトビケラ
33				コエグリトビケラ科	*Apatania* sp.	コエグリトビケラ属
34				ニンギョウトビケラ科	*Goera japonica*	ニンギョウトビケラ
35				カクツツトビケラ科	*Lepidostoma* sp.	カクツツトビケラ属
36				マルバネトビケラ科	*Phryganopsyche* sp.	マルバネトビケラ属
37			ハエ目	ガガンボ科	*Tipula* sp.	ガガンボ属
38				ユスリカ科	Chironomidae	ユスリカ科
39				ホソカ科	*Dixa* sp.	ホソカ属
40				ナガレアブ科	*Suragina* sp.	ホソナガレアブ属
41			コウチュウ目	ゲンゴロウ科	*Platambus pictipennis*	モンキマメゲンゴロウ
42				ガムシ科	*Hydrocassis lacustris*	マルガムシ
43	脊椎動物門	硬骨魚綱	コイ目	コイ科	*Phoxinus lagowskii steindachneri*	アブラハヤ
44			カサゴ目	カジカ科	*Cottus pollux*	カジカ
45		両生綱	無尾目	アマガエル科	*Hyla japonica*	ニホンアマガエル
46				アオガエル科	*Buergeria buergeri*	カジカガエル

※伊豆個体群（ニホンカワトンボとアサヒナカワトンボの雑種）

もうちょっと詳しく

【学名】・・・・生物につけられた世界共通の名前。ラテン語という言葉が使われている。
【和名】・・・・日本語の名前。
【門（もん）、綱（こう）、目（もく）、科（か）】・・・生物を分けるための分類階級。門から順に小さい区分となる。
【○○属】・・和名が○○属となっているのは、○○の仲間という意味。細かく分けるのが難しい種類。

こんな生き物がいました！

調査を行った川は、水が冷たく流れが速く、川底には石がごろごろしている場所や、泥の場所もありました。今回の生物調査では、その場所に合った様々な生き物が確認されました。きれいな水に生息するフタスジモンカゲロウ、クロヒゲカワゲラ、ヘビトンボ、ごろごろした石の川底に生息するヒゲナガカワトビケラ、砂や泥がたまった場所に生息するオニヤンマ、ダビドサナエなどです。きれいな川に生息する生物が多く確認されました。

水生昆虫

■フタスジモンカゲロウ（幼虫）
幼虫は流れのゆっくりした川の砂底に潜って生活します。背中のひらひらしたものはえらで、ここで呼吸をします。

■ミヤマカワトンボ（幼虫）
幼虫は流れの速い川の上流に生息します。成虫の雄の体は金属のような色をしています。

■ムカシトンボ（幼虫）
幼虫は水がきれいな冷たい川に生息します。生きた化石と呼ばれ、ジュラ紀の頃に出現したトンボです。

■クロヒゲカワゲラ（幼虫）
幼虫は水がきれいな冷たい川に生息します。足のつけねのひらひらした部分がえらです。

■ヘビトンボ（幼虫）
幼虫はきれいな川に生息します。肉食であごの力が強く人にもかみつきます。マゴタロウムシとも呼ばれます。

■カワトンボ属（幼虫）
幼虫は川の上流のゆるやかな流れに生息します。このカワトンボ属はニホンカワトンボとアサヒナカワトンボの雑種と考えられます。

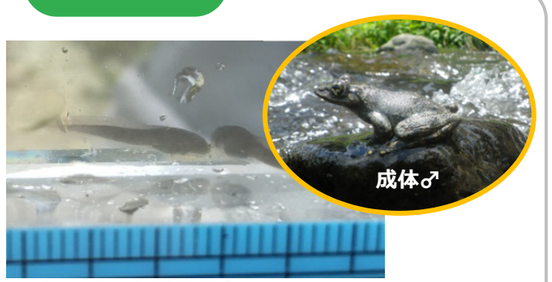
■オニヤンマ（幼虫）
幼虫は全身に細かい毛が生えています。口には前に伸びる大きなあごがついており、砂の中にかくれて通りかかる獲物を捕えて食べます。

■カクツツトビケラ属（幼虫）
ミノムシのように枯れ葉で筒状の巣をつくります。雑食ですが川の中の藻や枯れ葉などを多く食べます。

■モンキマメゲンゴロウ（成虫）
肉食で、カエルの卵なども食べます。えらがないため、おしりから空気を取り入れ、はねの下にためて呼吸します。

■マルガムシ（成虫）
幼虫は肉食で、成虫になると草食になります。ゲンゴロウと同じくえらがないため、足などの細かい毛に空気をためます。

カエル



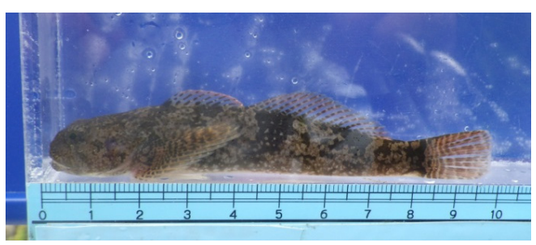
■カジカガエル（幼体）
流れの速い川の上流に生息し、岩とにた灰褐色で平べったい体型をしています。オスはきれいな声で鳴きます。

カニ

■サワガニ
川の上流に生息します。小さいうちはあまり水から出ませんが、大きくなると川のそばの陸地などでもみられます。雑食です。

魚　類

■アブラハヤ
小山町ではアブラッパヤとも呼ばれます。粘液が多く、さわるとぬるぬるしています。調査では １ｃｍ程度の幼魚も見つけました。



■カジカ
小山町ではカンジカとも呼ばれます。ごろごろした石がある川の底に生息しています。

※生物の写真はすべて小山町の地蔵堂川で撮影したものです。